



撮影者 山田 勝二 (坂野町)



## クイズ

2017年日本プロスポーツ大賞新人賞に選ばれた小松島市在住のスポーツ選手、おおたりゅうま太田竜馬さんは何のスポーツ選手でしょうか。次の3つからお選びください。



- ① 野球
- ② 競輪
- ③ ゴルフ

応募資格  
小松島市民の方、年齢制限はありません。

※はがきに答え・住所・氏名・年齢・性別を記入。  
抽選で5名様に図書カード1000円分プレゼント!

(当選者の発表は賞品の発送をもってかえさせていただきます。)

あて先  
〒773-8501  
小松島市横須町1番1号 小松島市議会事務局 宛  
(締切日2月28日消印有効)

前回もたくさんのご応募、ありがとうございました。  
前回の答えは15ページ(下段)に掲載しています

## 「だるま朝日」

### 寒さのなか 働く小舟を照らす

#### 目次

・ 常任委員会報告	2~5
・ 一般質問	6~11
・ 賛否表・他	12
・ 特別委員会設置 総務常任委員会視察報告	13
・ 文教厚生常任委員会視察報告	14
・ 皆さまからのご意見 前号クイズ答え	15
・ 3月定例会議日程・他 編集後記	16

総務

報酬、給与関係条例  
4件を可決

委員長 安平 剛之

総務常任委員会では、5件の付託議案の審査のため、12月13日午前10時から第一委員会室において委員会を開会した。

付託議案第91号から議案第94号及び議案第97号については慎重審査の結果、いずれも原案のとおり可決すべきものと決した。

また、報告第19号から報告第21号までに対する詳細なる説明を受け、その内容について確認した。

議案第91号 小松島市議会議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例について

議案第92号 小松島市長、副市長及び教育長の給与条例の一部を改正する条例について

以上の2議案は人事院勧告に準じて、期末手当の支給月数を0.05カ月分増とするもの。

報告第19号 専決処分の報告について(損害賠償額の決定)  
報告第20号 専決処分の報告について(損害賠償額の決定)

公用車運転中に発生した事故について、その損害賠償の額を専決処分により決定した。

報告第21号 専決処分の報告について(損害賠償額の決定)

市内在住の男性が運転する自動車のハンドルが、市道に生じていた穴によって損傷した事故について、その損害賠償の額を専決処分により決定した。

報告に対する質問

廣田 公用車にも損傷があると思うが。

答 公用車については、古い車であり傷しかないため、修理はしていない。また損害賠償額の6万3676円は相手方の車両に対する補償額であり、人身事故部分に関する対応は継続中である。

松下 市道の欠損により車両が損傷したようだが、欠損状況は。

答 30センチメートルの穴があり、碎石を敷いて対応していた。今年度、

その路線で工事の予定があり、補強整備していく。

所管事項に対する質問

百圓 市税の不能欠損額が1676万円もあるが、多いのでは。

答 公平性の観点から出来る限り時効とならないように徴収を行っているが、生活保護受給者や自己破産した方、居所不明者、また債務者が死亡し相続人がいない場合等、現実的に徴収が困難であるため時効となっている。

吉見 収納率が95%である。5%の市税が収納できていないことをどのように考えているのか。

副市長 県内全体の平均が93.2%である。本市は95%であり、法律の手続きに従って積極的に滞納処分を行っている。今後も、95%を上回るよう出来る限りの努力をしていく。



文教厚生

住宅新築資金貸付事業に関する  
2件の訴えの提起を可決

委員長 宮崎 欽司

文教厚生常任委員会では、議案第95号、議案第98号、議案第99号、以上3件の付託議案を審査するため、12月14日午前10時から第一委員会室で委員会を開催した。付託議案については慎重審査の結果、いずれも原案のとおり可決すべきものと決した。また、所管する課より報告事項の説明を受けた。

議案第95号 小松島市介護保険条例の一部を改正する条例について

介護保険法に基づく質問調査権の対象範囲の拡大に伴い、同調査権違反の罰則規定の対象範囲を拡大する等の改正を行うもの。

議案第98号 訴えの提起について

本市が貸し付けた住宅新築資金等貸付金に関して、徳島地方裁判所に主債務者及び連帯保証人を被告として貸金の返還等を求める訴えを提起することに、議会の議決を求

めるもの。

議案第99号 訴えの提起について

本市が貸し付けた住宅新築資金等貸付金に関して、徳島簡易裁判所に主債務者の相続人を被告として貸金の返還を求める訴えを提起することについて、議会の議決を求めるもの。

出 議案第98号、99号、2件とも時効となった期間はあるのか。

答 一部、時効となった部分がある。出 前定例会議でも同様の議案があった。1件、2件を随時提出するのではなく、全案件を議案として提出する考えはないのか。

答 現在、担当者1名という体制の中、課内で協力し、出来る限りのことを1つずつ随時やっていきたい。

出 時効援用によって回収不能となるものが、どんどん出てくる。一刻も早く体制を整え取り組むべきではないか。

副市長 昨年来、全件についてを精査した上で議会へ提出している。また、新年度から組織の体制強化を図りたい。

所管事項に対する質問

井村 県南部から徳島市内の高校へ入学するには8%という枠がある。県西北部が学区制廃止を要望という記事が新聞に載っていたが、県南部での動きはあるのか。

教育長 保護者やPTAからはさまざまな要望や声があるが、今の時点で、それぞれの学校、市町村から強い声、要望として出てきている状況ではないと把握している。

井村 枠組みを撤廃し、それぞれが一生懸命競争する方が選択肢もふえ一番良いのではないかと思うが、小松島市の現状について市長の考えは。

市長 保護者から要望が出てくれば、市長会等で意見させていただく。

池淵 小学校再編計画見直しとなった要因は。

答 再編計画は平成24年当時の児童数をベースに策定したが、その後、国から人口減少の中での人口ビジョンを想定した施策を立てるよう指針が示された。2030年時点での児童



建設中の櫛淵公民館

数を分析したところ、現行の5校での再編では1学年1クラスという状況が将来的に予測された。また、本市の公共施設等総合管理計画における施設の更新と再編など、子どもたちにとってより良い教育環境ということも含め、改めて見直すこととなった。

出 公民館の改修・改築計画、当初は1年に2館であったのが、なぜ1年に1館となったのか。

教育長 それぞれの公民館が持つ課題を1つ1つ解消していく上で時間を要する。改修・改築は安全確保の面から急がれるので、それぞれの課題が解消できた場合には、計画の前倒しも含め、できるだけ早く対応していきたい。1年に2館やるという方針に関しては見通しが甘かった。

# 産業建設

## 競輪特別委員会の設置を 議会運営委員会へ申し入れ

委員長 武田 清

産業建設常任委員会では、議案第96号、議案第100号、議案第101号、以上3件の付託議案の審査のため、12月15日午前10時から委員会を開会した。議案審査の結果、いずれも原案のとおり可決すべきものと決した。また、所管する課より報告事項の説明を受けた。

**答** 土地の評価については、標準地比準評価法を採用している。面積割りと㎡当たり、おおむね、3万円から4万円となる。

**議案第96号 小松島市営住宅条例の一部を改正する条例について**  
公営住宅法の改正に伴い、引用条文に条ずれが生じているため、所要の改正を行うもの。

**◆所管課より報告◆**  
幹線月ノ輪金磯線一番町第1踏切拡幅工事の状況について  
水路工事に必要な鋼矢板の調達に時間がかかるとの報告を受けたことから、踏切の通行止めの時期等については、来年度の秋以降となる予定である。今後、工程が固まり次第、議会、地元住民の皆さま、利用される方へ改めて周知していく。

**議案第100号 財産の取得について**  
日峯大神子広域公園（協谷地区）整備事業に必要な土地を取得することについて、議会の議決を求めるもの。

**◆所管課より報告◆**  
幹線月ノ輪金磯線一番町第1踏切拡幅工事の状況について  
水路工事に必要な鋼矢板の調達に時間がかかるとの報告を受けたことから、踏切の通行止めの時期等については、来年度の秋以降となる予定である。今後、工程が固まり次第、議会、地元住民の皆さま、利用される方へ改めて周知していく。

**出** 場所によって違うと思うが、取得する土地の㎡単価はどのくらいか。

**出** 競輪施設整備に關しては疑問点が多くある。競輪施設整備に特化した特別委員会の設置を提案したい。

**吉見** 1年延びるということか。  
**答** 水路工事が整ってから踏切工事をするため、おおむね1年延びる想定をしている。

### ◆所管事項に対する質問◆

**池淵** 農地に盛り土をする場合、周辺地盤に影響がでる事例がある。農業委員会として農地転用が申請された際には、地盤改良など周辺への影響がでないような指導をする必要があるのではないか。

**答** 許可権者である県に問い合わせたが、指導といった形では難しいということであった。

**池淵** 庁内には技術をもった課がある。技術的な部分については相談できる体制を整えるべきである。

**答** 部内で協議し、対応する。

**出** 競輪施設の改修・改築をしてから包括委託を考える理由は。

**答** 包括委託は契約年度が複数年にまたがることになり、契約期間中に施設整備を行う場合、業務内容が変更となるのが想定されることから、施設整備後の包括委託を考えている。

**出** 競輪施設整備に關しては疑問点が多くある。競輪施設整備に特化した特別委員会の設置を提案したい。



取り壊し予定の小松島競輪メインスタンド

**委員長** 議会運営委員会へ特別委員会設置を申し入れる。  
**松下** 金磯地区枝線水路整備の今後の予定は。  
**答** 秋から設計に着手している。地元の方々と相談し、一番効果のあるところから整備を行っていく。

# 予算決算

一般会計補正予算(第4号)を可決  
当初からの累計予算額は  
164億7729万5千円

委員長 井村 保裕

本委員会は、今期定例会議において付託された、議案第86号から議案第90号までの5件の補正予算議案について12月18日午前10時より、部局別に詳細なる説明を求め、慎重審査の結果、議案第86号については挙手採決の結果、挙手全員により可決すべきものと、議案第87号から議案第90号についてはいずれも原案のとおり可決すべきものと決した。

設置備事業」や、北小松島公民館改修工事に係る事業費等。  
これら歳出に充てる財源としては、地方交付税を一般財源の原資とし、特定財源には、国・県支出金、地方債等が計上され、当初からの累計予算額は164億7729万5千円となっている。

また、報告第18号に対する詳細なる説明を受け、内容について確認を行った。

**安平** 旧立江中学校は校舍取り壊し後にプールを、旧坂野中学校は西棟の解体を後からするということだが、なぜ分割して工事を行うのか、一括工事とする方が経費もかからないと思うが。

**議案第86号 平成29年度小松島市一般会計補正予算(第4号)について**  
歳入歳出とも7億8559万2千円の追加補正等。

**答** 旧立江・坂野、両中学校とも、昨年度から体育館、運動場を社会体育施設として昼間も利用しており、施設利用者の駐車場確保の点から工事を分割して行うこととしている。

**議案第88号 平成29年度小松島市国民健康保険特別会計補正予算(第1号)について**  
療養給付費等の保険給付費にかかるとも1億2860万6千円の追加補正。

**佐野** 生活支援体制推進会議と地域ケア会議の2つがあるが、その内容は。

**報告第18号 専決処分の報告について(平成29年度小松島市一般会計補正予算(第3号))**  
10月22日執行の衆議院議員総選挙にかかるとも1890万6千円の追加補正を専決処分により行った。

**答** 生活支援体制は生活支援コーディネーターを軸とし、地域のさまざまな課題を発掘して解決に向けて取り組む会議である。地域ケア会議については、現在地域包括支援センターで行っている個別のケースに関する協議をまとめる組織をつくり、全体

的な視点での情報共有を図る会議となっている。



**議案第90号 平成29年度小松島市公共下水道事業特別会計補正予算(第1号)について**  
人件費及び公債費に歳入歳出とも854万9千円の追加補正。

**報告第18号 専決処分の報告について(平成29年度小松島市一般会計補正予算(第3号))**  
10月22日執行の衆議院議員総選挙にかかるとも1890万6千円の追加補正を専決処分により行った。

# 市政 Q&A

## 一般質問・発言要旨

質問者名	件名	
池淵 彰	市税、クレジットカード納付導入について	P6
	公民館改修・改築工事の年次計画・方針について	P7
	新たな競輪施設整備について	P7
	市の事業の政策決定手順に統一基準が必要ではないか	
吉見 勝之	マイナンバーカード普及促進について	P6
	小中学校の制服について	P7
	水路と排水路について	P7
	公債権の徴収について	
出口憲二郎	高齢者の低栄養防止・フレイル予防事業について	
	公民館改修・改築工事等の年次計画・方針について	P8
	小松島競輪施設整備の概要について	P8
四宮 祐司	選挙における投票のあり方について	P8
	生活困窮者自立支援事業について	P8
米崎 賢治	災害対策について	
	投票率の向上について	
	今後の競輪事業について	P9
佐野 善作	危険空き家除去推進について	P10
	耕作放棄地の解消について	P11
	高齢者介護・福祉政策について	P10
安平 剛之	地域間競争における創生総合戦略について	P10
	公民館改修・改築工事等の年次計画・方針について	P11
	競輪施設の整備について	
高木 幸次	避難所運営について	
	県道坂野羽ノ浦線の現状について	P11
	広域ごみ処理施設建設事業について	P11
	市長の政治姿勢について	

## 市税のクレジットカード納付導入の検討は

みらいの会

池淵 彰 議員

**答** 費用対効果等を調査研究の上、検討する



## マイナンバーカード普及促進に市民サービスの提供を

やまももクラブ 吉見 勝之 議員

**答** 費用対効果を考慮し慎重に検討する



**池淵** 市税のクレジットカードでの納付方法の導入を検討しては。

**税務課長** 納税者の手元に現金がなくても納付が可能であること、カードの規約に応じてポイントが貯まるといったメリットがある一方で、決済手数料が必要であること、納税証明書の発行が遅れること等のデメリットもある事も踏まえ検討する。



## 公民館改修・改築工事の年次計画について

**池淵** 改修計画策定にあたっての協議は9月以降、何回持たれたのか。

**生涯学習課長** 回数は定かではないが、協議を重ねてきた。

**池淵** 施設改修に、多額の税金を投入するにもかかわらず、会議の議事録も回数も定かでないことは、どういうことか。

**教育長** それぞれの会議のメモはあるが、正式な記録はない。

**池淵** 前方針では、IS値の低い順から、年2館ずつで進めていきたいとのことであった。避難所になる施設であるにもかかわらず、たった3カ月の協議で年1館ずつとブレキをかけるような計画にしたのはなぜか。

**教育次長** 施設により、設置状況、土地関係などの課題に対処するには年2館の計画は現実的に難しいと判断した。

**池淵** 市民の生命と財産を守る為、避難所の耐震化を順次2館ずつ進めていきたいと言ったことを崩すのか。



**教育長** 一つ一つの課題を解決し、少しでも早く計画を前倒しして、工事のスタートができるよう進めていく。

## 新たな競輪施設の整備は

**池淵** 施設整備を行うにあたっての進め方は。

**産業建設部参事** 整備計画を平成30年度に策定する。プロポーザル方式実施要綱に基づき、外部委員を含めた選定委員会を設置する。

**池淵** 施設整備計画全体の工程、スケジュールはいつ示せるのか。

**産業建設部参事** 本定例会議中の産業建設常任委員会に提出させていただく。

**吉見** マイナンバーカード普及促進のためにも、全国のコンビニで住民票の写しなど各種証明書の交付が受けられるといった、市民サービスを提供すべきでは。

**市民環境部長** 普及に関しては全国的にも国が目標とする交付数を大きく下回っている現状である。普及促進を図るためにはカードに付加価値をつけることやカードを利用することやカードを提供するサービスの提供が有効であるという認識はある。コンビニ交付サービス導入には、システム構築等の初期費用に多額の経費が必要となるため、利便性や効果などを考慮し慎重に検討する。

**吉見** 導入経費が高額でできないと言うのは理由にならない。市民にとって便利なサービスならば実施すべきと考えるが市長の考えは。

**市長** 市の財政状況も非常に厳しく、国からの財

政支援や近隣自治体の動向も踏まえながら、費用対効果を考慮し、実施の可否を含め総合的に判断する。

## 市内排水路の管理・対策は

**吉見** 和田島堤防下の排水路に砂が堆積し、排水が阻害され、自衛隊付近では悪臭がしている。今後どのように対応していくのか。

**産業振興課長** 所管する県東部県土整備局港湾管理担当へ、適切な管理を要望していく。



和田島 堤防下の排水路

**吉見** 市道横須4号線沿いの水路の管理は。

**都市整備課長** 毎年12月に草刈りと清掃作業を実施している。土砂も増えていることから、しゅんせつ等も考慮し、管理していく。

## 小中学校の制服の価格は

**吉見** 新聞記事では公正取引委員会は制服の価格を安くするよう改善案を公表する予定とあり、その中に学校が制服の取引に参与する事で価格を抑えられるとある。子どもへの貧困が社会問題となる今、保護者の負担軽減を考えると何らかの措置を講じるべきではないか。

**学校課長** 学校が関わる上では地域の販売店との関係の保持、競争性や透明性の確保など、留意点も数多い。公正取引委員会の報告書を持って、慎重に対応する。

# 公民館改修計画は変更しないのか

新生クラブ 出口 憲二郎 議員

**答** 今後、変更する場合もある



**出口** 公民館改修・改築計画は決定事項なのか。  
**教育次長** 今後検討して変更する場合もある。

を受けた形で建設、建築事業を行うような体制を、現在整えつつある。

**競輪施設整備計画の概要について**  
**出口** 競輪事業の最大の使命は、収益を出して、一般会計に繰り入れることであると考えるが、今回の計画にあるような多額の費用をかけ施設整備を行い、なおかつ、収益を出し一般会計に繰り入れることが可能なのか。

**出口** 今回の策定された公民館改修・改築計画には納得できない。不確定要素が多くあり、変更する場合もあるならば改めて計画を策定してどうか。

**出口** 今回の計画では、南小松島公民館の改修改築を含め、約2年の遅れとなっているが、その原因は財政上の理由か。

**統括監** 今後、改修に至っても、一般財源に繰り入れることができると考えている。

**教育長** 今回の計画を基本に、不確定要素を解決しながら進めたい。  
**出口** 今回のような建設事業については、統合的に処理する課を設けてどうか。

**総務部長** 各課で上がった事業については、統合的に処理する課を設けてどうか。

**総務部長** 競輪事業特別会計の今後の見直しについて財政当局で徹底した分析をしているという状況

# 投票率向上のため選挙公報を発行しては

公明党 四宮 祐司 議員

**答** 次の市議会選挙において発行できるよう準備を進めたい



**四宮** 全国的にも投票率が低下しており、各選挙管理委員会では投票率を上げるため苦慮されている。有権者に選挙に関心を持っていただくため、候補者のプロフィール、キャッチフレーズ、政策などを紹介した選挙公報を次回の市議会議員選挙から発行してはどうか。

**選挙管理委員会事務局長** 選挙人の皆さまに、候補者の政見等を手元で一堂に見ていただき、政治や選挙に関心を持って、投票所に足を運んでいただくよう、今後、選挙公報を発行するための条例案の作成や必要な情報の

**投票所の入場券を改善しては**

**選挙管理委員会事務局長** 今後の研究課題であるとは認識している。

**生活困窮者自立支援の現状は**

**四宮** 期日前投票に行くこと入場券を持参しても、宣誓書に住所、氏名、生年月日をその場で記載しなくてはならない。高松市では投票所入場券の裏面に期日前投票の宣誓書が印刷されており、事前に記入して投票に行ける。徳島県では、既に阿波市が採用しており、本市でも採用してはどうか。

**四宮** 生活困窮者が最終的に生活保護に至るまでの第2のセーフティネットとして生活困窮者自立支援法が平成27年4月に施行されたが、施行後の現状と支援事業の実績は。

**生活福祉課長** 平成29年度、総相談件数は11月末現在で769件である。また、事業開始から相談者の課題が解決し、自立プラン終結となったのが

13件、就労に結びついたのが34件となっている。  
**四宮** 高齢化が進み、支援を必要とする方もふえてくると予想される。現在でも相当数の相談がある中で、市は今後のように対応するのか。

**生活福祉課長** 生活に困っている方の就労や経済的困窮、健康、高齢などの課題に寄り添うため、関係機関と協力し今後も相談者一人一人の意欲や思いを大切にしたい。支援プランを作成し、生活困窮状態から自立できるよう包括的、継続的な支援事業として取り組んでいく。

**生活福祉課長** 平成29年度、総相談件数は11月末現在で769件である。また、事業開始から相談者の課題が解決し、自立プラン終結となったのが

況ではないが、そういう感覚は持っている。  
**出口** 競輪事業の財政計画（シミュレーション）が平成33年度までしか示されていない。借入金の返済等、今後最低でも15年〜20年の財政計画を立てるべきと考えるが。

收支の検討は完全にはできていない現状である。競輪局で赤字にできるとの収支見直しを立てて今回示したものと考えている。

**出口** 設計建築一体発注について検討するとあるが、この発注様式については入札における透明性、公平性において問題があり、公共事業においては適当でないとの専門家の指摘もあるが、どう考えているのか。

**産業建設部参事** 短い限られた期間内で施設整備をする必要があることから今後検討するとしてものである。

**生活福祉課長** 生活に困っている方の就労や経済的困窮、健康、高齢などの課題に寄り添うため、関係機関と協力し今後も相談者一人一人の意欲や思いを大切にしたい。支援プランを作成し、生活困窮状態から自立できるよう包括的、継続的な支援事業として取り組んでいく。



相談窓口となっている生活自立支援センター（昭和町の労働福祉会館内）

# 武雄競輪場（佐賀県）のバンク改修手法を検討しては

新風はなみずき 米崎 賢治 議員

**答** 今後、策定する基本計画の中で具体的に決めていく



**米崎** 小松島競輪施設整備の概要にはバンクの除去とあるが、調査を行った上で除去をするのか。

**産業建設部参事** 現在のバンクは昭和40年に400メートル競走路として完成しており、平成17年に1890万円をか

けて舗装路保護シーリング工事を行って以降、毎年走路のひび割れなどに対する部分補修しか行われていない状況にある。近年は、専門家による調査を行うまでもなく基礎の土台部分の侵食からひび割れがとまらず、雨が

降るとバンクの傾斜部分から入った水が下から染み出している状況も確認していることから、土台の部分からやり直すことを考えている。

**米崎** 平成28年に走路の改修を行った武雄競輪場においては、表面をは

ぎとり、アスファルトなどの舗装をやり直し、地下排水溝も設ける工事を行い、現状の形を保った改修を行った結果、改修費用は2億1600万円に抑えられたと聞いている。小松島競輪場においてもその手法を取り入れてみては。

**産業建設部参事** 施設改修の具体的なものについては今後策定する基本計画の中で明らかにする。

**米崎** 西スタンドを増築し、メインスタンド化するということだが、こちらも耐震診断または調査の結果からの判断か。



再整備が検討される小松島競輪場

# 危険空家を除却するための対策は

善政クラブ 佐野 善作 議員

**答** 空き家等対策計画を策定する

**佐野** 空家等対策の推進に関する特別措置法が施行されて2年半が過ぎたが、市の対策はどこまで進んでいるのか。

**住宅課長** 空家等対策協議会を設置し、11月には第1回協議会を開催している。今後は、パブリックコメントを実施した上で、空家等対策計画を策定する予定である。また、現在、市が行っている老朽危険空家除却支援事業（工事費の5分の4以内で最大80万円を補助）では、平成27、28年度で4件を実施、本年度は3件の執行見込みである。

**佐野** 特措法には税制に

関してどのような規定があるのか。

**税務課長** 特定空家等に指定された敷地については固定資産税の住宅用地特例の適用対象から除外される。

**佐野** 勧告や命令をして

も除却しない空家に対して強制執行はできるのか。

**住宅課長** 特措法では所有者に対する助言、指導、勧告、命令、代執行について規定されている。

**佐野** 今後、どのように進めていくのか。

**住宅課長** 庁内関係課で構成する連絡協議会を立ち上げ、全庁的な連携を図り取り組む。



# 合併処理浄化槽設置補助はどうするのか

みらいの会 安平 剛之 議員

**答** 現在、検討中である

**安平** 地方創生のもと、

地域間競争に生き残るためには魅力ある施策が重要となる。定住促進のための施策として、新築時における合併処理浄化槽設置補助があるが、近隣市と差がありすぎる。7人槽で徳島市7万2千円、阿南市4万4千円、本市はゼロである。これで移住を促進していると言えるのか。

**市長** 本市においても、検討中である。また、家の新築時には、インフラ整備等も必要であり、補助だけが方策ではないと考える。

**市独自の新たなサービス計画は**

**安平** 産前産後ママサポート事業以外の新たなサービスはあるのか。

**保健センター所長** 徳島

**中小企業振興策は**

**安平** 本市の中小企業・小規模企業振興条例にある市内の中小・小規模企業の受注機会の増大とは。

**産業建設部長** 予算の適

正な執行に留意しつつ、市内企業に受注の可能性があれば優先的に選定し、受注機会の増大に最大限の配慮をしている。

**市独自の新たなサービス計画は**

**安平** 産前産後ママサポート事業以外の新たなサービスはあるのか。

**保健センター所長** 徳島



赤十字病院・徳島助産師会と連携し、産後ケア事業を計画している。

**本市を教育市と位置づけては**

**安平** 本市の小中学校に通えば成績が上がるとなれば、両親はぜひとも小松島市に住みたいと考え

る。夏休み期間を10日間とし、残りは学校で勉強をするなどのシステムを作っては。



**生涯学習課長** 総合管理計画を基にした計画ではないが、総合管理計画との整合性も図る方針である。

**総務部長** 公民館耐震補強の実施時期を示す計画であり、総合管理計画に乗っ取った計画ではない。

# 耕作放棄地の解消について

**佐野** 耕作放棄地解消に役立つ制度はあるのか。

**産業振興課長** 農地の貸借を仲介する農地中間管理機構により、農地を地域の担い手に預ける制度や、小松島市担い手育成

支援協議会の歩行型草刈り機の無償貸出がある。

**佐野** 耕作放棄地解消に向けての市長の考えは。

**市長** 農地中間管理機構や国の制度を活用した水田での高収入作物の拡大により、耕作放棄地の解消、防止が図れるよう取り組み。



歩行型草刈り機

**学校課長** 猛暑の中での授業は効率が上がらない。また、教職員にとっては専門的な研修や講座を受け資質向上を図る期間である。夏休みの短縮は賛否両論あるが、学校現場・保護者の声を大切にしながら対処する。

**公民館工事計画と総合管理計画の整合性について**

**安平** 3月に制定された市の重要な計画として、公共施設等総合管理計画がある。12月に計画された公民館工事計画は総合管理計画を考慮していな

のと認識しているが、広域ごみの事業化を選択、判断したという点においては、首長の私自身に責任はあると認識している。

**高木** 県道坂野羽ノ浦線道路拡幅について

**高木** 県道坂野羽ノ浦線の拡幅工事の進捗状況は。

**都市整備課長** 県道拡幅区間におけるS字急カーブの一部区間については、今年度11月に工事が着手されており平成30年5月下旬までを工期とし、工事完了後に舗装工事を発注する予定である。

# 広域ごみ処理施設建設事業の住民説明会開催時期は

大巨クラブ 高木 幸次 議員

**答** 徳島市の状況を見ながら新年度以降に開催予定

**高木** 今後における住民説明会の開催時期は。

**市民環境部長** 徳島市が平成30年3月末頃から住民説明会の開催を予定

しており、そうした徳島市の状況なども勘案しつつ、本市でも、新年度以降の早い段階で隣接地を

中心に住民説明会を開催していく予定である。

**高木** 公民館単位で住民説明会を開催する意向はないのか。

**市民生活課長** まずは、候補地隣接地を中心とした市民説明会の開催を考

えているが、市全体に関



わる事項も想定されるため、先に開催する隣接地での市民説明会の状況なども踏まえ、適宜開催を検討していく。

**高木** 広域ごみ処理施設の事業推進にあたり、行政・議会・市民による合意形成を優先すべきで

は。

**市民環境部長** 現在、徳島市が策定中の「施設整備基本計画（案）」を基に、今後、徳島市で開催される住民説明会の状況なども見極めつつ、本市でも、最有力建設候補地の隣接地等を中心に住民説明会を開催し、市民の方々への理解や合意形成に努めていく。

**高木** 広域ごみ処理施設供用後、仮に事故が発生した場合、市長の責任をどのように認識しているのか。

**市長** 事業主体である徳島市が、大気・排水等の対策も含め、安全・安心な施設として建設するも



県道坂野羽ノ浦線S字急カーブ

## 議員の賛否表（平成 29 年 12 月定例会議）

議案	議員名（議席番号順）															
	松下大生	四宮祐司	高木幸次	米崎賢治	池淵彰	片田真弓	杉本勝	前川英貴	廣田和三	井村保裕	吉見勝之	武田清	出口憲二郎	安平剛之	佐野善作	宮崎欽司
第86号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
第87号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
第88号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
第89号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
第90号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
第91号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
第92号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
第93号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
第94号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
第95号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
第96号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
第97号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
第98号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
第99号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
第100号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
第101号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
第102号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
第103号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
第104号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議提第4号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議提第5号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

○は賛成 ●は反対 退は退席 欠は欠席 ※議長（北野 恒男）は、採決には加わりません。

## 意見書 1件を関係大臣に 送付しました



### ◎道路財特法における補助率等の 高上げ措置の継続を求める意見書

【送付先】  
衆議院議長 参議院議長 内閣総理大臣  
財務大臣 総務大臣 国土交通大臣

### 【要旨】

道路は、地域経済の活性化や住民の安全・安心な暮らしを支える最も基本的かつ重要な社会資本の一つである。

厳しい財政状況の中、高速交通ネットワークの整備、南海トラフ地震等の大規模災害に対する防災・減災対策、地域の活力の維持・増進等に必要道路整備のほか、市民が安心・安全に道路を利用するための計画的な老朽化対策など、緊急に対応すべき多くの課題を抱えている。

よって、国におかれては、地方の道路整備を引き続き強力に推進するため、道路関係予算の所用額の確保はもとより、道路財特法の補助率等の高上げ措置について、平成30年度以降も現行制度を継続するよう強く要望する。

## 小松島競輪事業調査 特別委員会を設置

12月定例会議散会日に議提第5号「小松島競輪事業調査特別委員会の設置について」を上程、全会一致で可決され、小松島競輪事業調査特別委員会が設置されました。

競輪事業に関することについては、これまで産業建設常任委員会において審査をしておりますが、今後は、小松島競輪事業調査特別委員会で調査や審査を行ってまいります。

### 委員会構成

- ◎委員長 出口 憲二郎
- ◎副委員長 廣田 和三
- ◎委員 高木 幸次、安平 剛之、井村 保裕、池淵 彰、杉本 勝、前川 英貴、米崎 賢治、四宮 祐司、松下 大生

### 【設置の趣旨】

小松島競輪は小松島市政にとって大きな事業であり、ここ20数年は本来の目的である利益の一般会計への繰り入れがなされていない状況である。

今般、概算とはいえ18億円から20億円という費用をかけて、競輪施設が整備されようとしている。巨額の費用をかける以上、安定した経営見通しがあって、はじめて成り立つ話である。

今後の市政に影響を及ぼす重大な政策の転換であると考え、小松島競輪事業については、この問題に特化した特別委員会の設置が適当である。

## 総務常任委員会視察報告

### 視察日及び視察先

平成29年11月21日（火）熊本県宇城市  
平成29年11月22日（水）熊本県宇土市

### 出席者

- ◎委員長 安平 剛之
- ◎副委員長 松下 大生
- ◎委員 高木 幸次、杉本 勝、吉見 勝之、前川 英貴、廣田 和三、米崎 賢治、四宮 祐司
- ◎議員 佐野 善作、出口 憲二郎、武田 清、井村 保裕、池淵 彰
- ◎議長 北野 恒男

### 調査項目

・発災時の避難所の運営について

### 目的

実際に大規模災害が起こった際には長期間に及ぶ避難生活が予想されている。円滑な避難所運営を行うため、行政だけでなく議会・議員としてどうすべきか、地域住民のためどのような対策、対応ができるか、自助・共助の観点から事前にすべき対策等について調査・研究する。

### 事前研修

10月26日（木）徳島県防災人材センターから平山氏を講師にお招きし、発災時における避難所開設のポイントや課題についての研修を受けた。

### 調査概要

【宇城市】 前震の地震発生から50分後に災害対策本部を開設し、その30分後には避難所開設に至っている。



災害のつめ跡が残る宇城市役所

また、議会における発災時の対応マニュアルは作成していたものの、機能せず、発災後は行政と議会との間で週に一回定期的に情報共有が行われ、地元市民へ状況説明がなされた。

避難所運営においては、ペットと共に避難する想定はされておらず、車中泊増加の要因となった。また、在宅被災者への支援については、発災前から毎年要支援者の安否確認訓練を実施していたこともあり迅速な対応ができたとのことである。

【宇土市】 熊本地震の影響により、市役所庁舎が倒壊の恐れがでるほどの損傷を受けたため、市役所駐車場にテントを張って災害本部の機能を移した。発災直後は本庁舎の書類、OA危機など一切持ち出すことが出来ず、使用可能な電話回線は1回線のみという状況であった。避難所においては、グラウンドを解放し、照明をすべて点灯することで安心感が上がったそうである。また、発災から3日間は避難所への配給物資が大幅に不足していたが、救援物資が本格的に届き始めたことにより、夜間での救援物資の受け入れ（荷卸し・仕分け）が課題となった。

いずれの市においても避難所運営マニュアルは策定してはいたものの、発災時においてはマニュアルに基づいた運営が出来たとは言い難い状況であった。

視察先

エコパーク阿南（阿南市橘町小勝）

視察日時

平成29年10月25日（火） 午後2時～

出席者

- ◎委員長 宮崎 欽司
- ◎副委員長 四宮 祐司
- ◎委員 出口 憲二郎、武田 清、高木 幸次、安平 剛之、井村 保裕、池淵 彰、前川 英貴、廣田 和三
- ◎議長 北野 恒男
- ◎議員 吉見 勝之、米崎 賢治、松下 大生

調査項目

・ゴミ焼却施設の現地視察（施設概要等）

目的

本市が現在2市4町において協議中である「ゴミ処理施設の広域整備」については、事業主体である徳島市から環境に配慮した施設として建設するとの見解が示されているところであるが、最新のゴミ処理施設の設備や取り組みなどを調査研究することにより本市のゴミ処理施設の広域整備についての参考とする。

事前研修

当日は、午前中に阿部清一氏（国立環境研究所客員研究員）を講師に招き広域ゴミ処理問題を考える勉強会を行い、ゴミ処理の現状や、これからのゴミ処理のあり方などを研修したうえで、視察調査を行った。

調査概要

視察先のエコパーク阿南は既存施設（阿南市クリーンセンター及び阿南市リサイクルセンター）の経年的老朽化による処理機能の低下、安定稼働の困難性、維持管理費の増大、施設の狭隘（きょうあい）からゴミ処理の効率的な処理体制の整備を図るべく旧2施設を統合した新ゴミ処理施設として整備された施設である。

施設整備にあたっては環境にやさしい、安全で安心な施設とするため、ダイオキシン類等の排ガス規制値については国内でも高水準の自主規制値としている。また、完全排水クロードシステムを採用し、工場排水、生活排水を含めた施設から出る排水は「エコパーク阿南」にて全量使用し、雨水のみ排水しているとのことであった。



ゴミが搬入されるプラットホーム

皆さまからのご意見!!

クイズ応募者より

豪華客船が寄港すると  
お母さんと一緒に見に行きました。  
何度見ても飽きないねーと  
(^▽^)/ (10代女性)

クイズ応募者より

いつも楽しみに拝見しております。  
小松島市活性化促進のために、  
交通の円滑化や商業施設の拡大等、  
今後取り組んでもらいたいです。  
(40代男性)

クイズ応募者より(抜粋)

いつもお盆に寄港する豪華客船の撮影を楽しみにしています。ただ、お昼頃入港する船への出迎への市民が少ないのが寂しいです。  
船が港に入ってくるときに市民がUW旗を振るなど、入出港時間を市民に事前に案内して盛大な出迎え、見送りの企画があれば楽しめ、おもてなしの良さは寄港回数の増加につながり、市の観光PRにも役立つと思います。(60代女性)

H29年12月ふれあい市議会コンサート  
「昭平成歌謡楽団」来場者より

- ・懐かしい曲、素晴らしい演奏で、最後まで楽しんで歌いました。またの機会を楽しみにしています。
- ・初めて来ましたが楽しかったです。古き昭和の歌、良いですね。又、来たいと思いました。
- ・生バンドが大変良かったです。



クイズ応募者より

「議会だより」を通じて議員の方々の活躍の状況を理解できます。市民のため今後も頑張ってください。  
(70代女性)



今後も、皆さまのご意見を市政に反映し、小松島市の発展に取り組んでまいります!

前号(115号)クイズの答え

② 6隻

(前号の問題)

平成29年4月から10月末までに小松島市に寄港した豪華客船は何隻でしょう。(同船が2回寄港の場合、2隻とする)

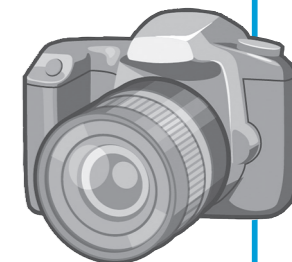
★前号クイズ応募総数 37通

クイズへのご応募、コメントお待ちしております。



大募集!!

「議会だより」表紙写真



1. テーマ 議会だより表紙にふさわしい、とっておきの一コマ
2. 応募資格 市内在住・在勤・在学の方
3. 応募方法 応募用紙に必要事項をご記入の上、写真（A4サイズ）を添え、市役所2階、議会事務局までご提出ください。
4. 応募規定 応募作品については本人が撮影した未発表のものに限ります。被写体に人物、会社、個人の所有物などが入る場合は、その旨了承を得た上でご応募ください。
5. 応募締切 4月10日 必着（5月5日発行号）
6. 応募先 〒773-8501 小松島市横須町1番1号 小松島市議会事務局
7. 問合せ先 小松島市議会事務局 Tel 32-1359



# 平成30年3月 定例会議 日程

◎開議時刻 青字 午前 10時  
赤字 午後 1時

日	月	火	水	木	金	土
4	5	6	7	8	9	10
	開 会	質疑・一般質問 市議会コンサート	質疑・一般質問	質疑・一般質問	休 会	
11	12	13	14	15	16	17
	総務 常任委員会	文教厚生 常任委員会	産業建設 常任委員会	予算決算 常任委員会	予算決算 常任委員会	
18	19	20	21	22	23	24
	予算決算 常任委員会	予算決算 常任委員会	休 会	予算決算 常任委員会	休 会	
25	26	27	28	29	30	31
	議決・散会					

発行／小松島市議会 議長 北野恒男



## ふれあい市議会コンサート



12月8日、定例会議の一般質問初日のお昼休みに、本会議場においてふれあい市議会コンサートを開催し、「昭和平成歌謡楽団」の皆さんに御出演いただきました。ヴォーカルのお二人をメインに、ドラム・ベース・ギター・ピアノの生演奏とともに、懐かしい青春歌謡を披露してくださいました。

編集／議会広報特別委員会 委員長 吉見勝之

編集後記

例年になく厳しい寒さとなり、梅のつぼみがほころぶ春の訪れを待ち焦がれています。

広報委員一同、毎月レイアウトや写真選び、イラストの配置など、それぞれの意見や知恵を出し合い編集に取り組んでいます。

紙面への御意見、御感想をお聞かせいただければ幸いです。

広報委員 片田真弓

広報委員

委員長 吉見勝之  
副委員長 米崎賢治  
委員 安平剛之  
委員 杉本勝  
委員 片田真弓  
委員 廣田和三  
委員 四宮祐司  
委員 松下大生